

ロシア 東欧 経済速報

(社)ロシア東欧貿易会

2003年(平成15年)3月25日号 No.1256

目次

2002年の日口貿易	1
総額の縮小は不振を意味せず	
統計速報	6
2002年の対CIS・中東欧・モンゴル輸出入通関実績 / 6	
エトセトラ	7
モスクワ・メルマガNo.14発行のお知らせ / 7	
『調査月報』最新号のお知らせ / 7	
新刊案内 宇山智彦編著『中央アジアを知るための60章』(明石書店) / 7	
東洋トランスの引越しサービス / 7	
ロシア東欧貿易会関連の行事予定	8
CIS・中東欧諸国通貨の為替レート	8

2002年の日口貿易 総額の縮小は不振を意味せず

はじめに

当会では、財務省発表の貿易統計にもとづいて、2002年の日本・ロシア貿易の輸出入商品構成をまとめたので、今回の速報ではこの資料をお届けする。なお、統計速報のコーナーでは、2002年の日本の対CIS・中東欧・モンゴル輸出入額の一覧表を掲載しているので、あわせて参照していただきたい。

財務省発表の貿易統計を当会で独自にドル換算したところ、2002年の日口貿易は総額で42億1,915万ドルにとどまり、前年比8.1%低下した。うち、日本の輸出が9億4,250万ドル(前年比31.4%増)、輸入が32億7,666万ドル(前年比15.4%減)であった。収支はマイナス23億3,416万ドルであり、これでソ連末期から13年連続して日本側の入超となった。より規模の大きい輸入の低下が総額にも響いた形だが、以下に述べるように、これは必ずしも、2002年になって日口貿易が不振に陥ったということの意味するわけではない。

なお、円建てで見ると、2002年の日口貿易は総額が5,280億円(前年比4.9%減)、うち日本の輸出が1,182億円(同35.8%増)、輸入が4,098億円(同12.5%減)であった。